

# ご近所の お医者さん

  
495  

さの小児科クリニック院長 佐野博彦さん 豊中市

## 学校のクラブ活動

最近、いろいろな競技でパワーハラ行為が問題になっていきます。

私も中高生のころ、クラブで2年生がものすごく威張っていました。1年生を「しごく」のが専門の2年生がいたり、不条理だと思っていました。

パワーハラを無くしていくためには、監督、

コーチ、上級生などの言動をきちんとチェックするシステムが組織にあるかないか、それがすべてだと思います。監督は大抵の場合、絶大な人事権を

## 側隠の情で脱パワーハラ

ツクするシステムが必要です。

弱いチーム、それを気に留めていないチームはいいのです。急速に強くなるうとしていくチーム、現在すでに強いチームは、勝つことにこだわりすぎているかということ、自問自答する必要があります。こだわりすぎる結果、さまざまなひずみが生まれ、子供たちを思いやれずに追い込んでしまうと思います。

スポーツ界では、過去の名選手が指

持っています。監督に嫌われたら、実力が一番であっても、試合に出してもらえないでしょう。逆にお気に入りに出してもらえませんが、言動のチェックだけでなく、人事権の行使についても、公平で客観的なもののかをチェ

導者になっていることが圧倒的に多いですが、名選手が良い指導者とは限りません。野球の経験がほとんどない人が名監督になるということも、大いにあります。人の気持ちが分かるということ、敗者の気持ち、レギュラーにならない子供の気持ちがわかる、側隠の情があることが大切です。クラブ活動で、子供を身体的、心理的に追いつめないよう注

意が必要です。暴言、暴力を用い

てまで強くなる必要はないということ、成果主義はよくありません。

最近では動画が簡単に撮れるようになって、暴力や乱暴なプレーが見つかることが多くなりました。スポーツを成るのみで判断せず、成績の裏に暴力や乱暴なプレーがある場合には、こちらにも目を向けることを一般の人々、そしてメディアにお願いしたいと思います。人を業績のみで評価しないことです。

